

(2025年度) 地域連携推進会議 会議録

事業所名			
サービス種別			
開催日時			
開催場所			
出席者	利用者		
	利用者保護者		
	地域関係者		
	※福祉に知見を有する方		
	※経営に知見を有する方		
	※行政関係者		
	事業所職員		
記録者			

(1) 利用者と地域との関係作り	
(2) 地域の人への施設 等や利用者に関 する理解の促進	

(3) 施設等やサービスの透明性・ 質の確保	
(4) 利用者の権利擁護	
(5) その他	

(1) 利用者と地域との関係作り

施設等の利用者が地域の一員として生活を送るためには、利用者と地域との関係づくりが重要です。会議や構成員による施設等への訪問を通じて、利用者と地域の人との顔の見える関係を構築することで、日頃からお互いに声を掛け合えたり、利用者が地域行事に参加しやすかったりするような、利用者が地域の中でより良い生活を送るための関係づくりを目指します。

(2) 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進

地域連携推進会議は、その名称からもわかるように、会議の開催や会議の構成員による施設等への訪問を実施することにより、地域に開かれた施設等になることを目指す会議体です。地域に開かれた施設等となることで、施設等や障害のある方の施設等での生活に対する理解を促進するとともに、施設等やその職員と地域の人との繋がりづくりを推進することを目的としています。

また、施設等の職員が地域の人を知るきっかけにもなり、施設等と地域の人の双方向による理解醸成が図られます。こうして地域との連携が深まることで、地域での事業運営がしやすくなり、効果的な事業運営に繋がることが期待されます。

(3) 施設等やサービスの透明性・質の担保

障害福祉サービスの質の確保・向上については、従来から重要な課題として様々な議論がなされてきました。基本的には、人員、設備及び運営に関する基準において、質が担保されている一方、サービス類型ごとに更なる質の向上の取組みがなされています。例えば、児童発達支援や放課後等デイサービスについては、支援の質の向上を図るため、独自のガイドラインが策定されています。また、日中サービス支援型のグループホームは、地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質の確保を図るため、（自立支援）協議会に対し定期的に事業の実施状況を報告し、評価を受けるとともに、当該協議会から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならないこととされています。

通所系のサービスと比較すると、外部の目が入りにくくなりがちな施設等を運営する事業者についても、地域に開くことにより施設等の運営やサービスの透明性を確保するため、地域の関係者等を含めた構成員による地域連携推進会議の開催及び当該構成員が地域連携推進員として施設等を訪問する仕組みの構築が重要となります。

(4) 利用者の権利擁護

施設等では、利用者が障害により言葉で意見を伝えることが難しい場合が多いため、利用者の思いがサービスに活かされているか、利用者が希望する生活を送ることができているかなど、会議の中で話し合われることが重要です。なお、意見表出そのものが難しい利用者に対して、施設等側としても利用者の意思決定支援にどのように取り組んでいるか等を、地域の人に伝える良い機会にもなります。

(2025年度) 地域連携推進会議 見学会議録

事業所名	「ゼノ」ホーム青雲		
サービス種別	共同生活援助（介護サービス包括型）		
開催日時	2025年10月7日（火）10時～11時		
開催場所	「ゼノ」ホーム青雲、「ゼノ」ホームあじさい、 「ゼノ」ホーム太陽、「ゼノ」ホーム大地		
出席者	利用者		1名
	利用者保護者		1名
	地域関係者		2名
	※福祉に知見を有する方		
	※経営に知見を有する方		
	※行政関係者		
	事業所職員		3名
記録者	サービス管理責任者		

(1) 事業所の雰囲気	（地域の方より） 「ひとりひとりの居室空間が確保されており、全体的に綺麗ですね。また近隣にスーパーやドラッグストア、衣料品店があり生活するには大変便利な場所ですね」 （事業所職員より） 「土日祝日のお昼は各利用者さんはご自分でお昼ご飯を購入しに行かれるのですが近くて便利そうです。」 （地域の方より） 「各ホームの職員配置はどのようになっていますか？」 （事業所職員より） 「世話人さん2名、夜勤専門員3名、常勤職員6名で対応しております。」
(2) 利用者・職員の様子	（利用者さんより） 「あじさいホームは時々うるさいと感じる事もあるがご飯はおいしく特にお肉が好きで美味しいです。」 （事業所職員より） 「ここ数日気分が不安定な方がおり、騒がしくてすみません。」「お肉お魚等バランスよく提供していきますね」

(3) 建物について	(地域の方より) 「交通量の多い道路に面して建物が立ってますが、環境面はどうですか？」 (事業所職員より) 「道路の車両往来は多いですが、敷地奥に建物が立っており、比較的静かです。」 (地域の方より) 「夜間施錠はしてますか？」 (事業所職員より) 「玄関,勝手口等施錠してますが一般的なドアの施錠であるので中から開けようと思えば開けられますが夜間出て行かれる方居ません。」
(4) その他	(保護者の方より) 「本人達もこれから年齢を重ね、色々な事が有るかもしれないが、今の穏やかな暮らしを少しでも長く続けていけたらと思います。」 (事業所職員より) 「年齢を重ね、今までなかったことや予想しなかった事が起ころうかと思いますが、利用者に寄り添いホームで過ごせて良かったと言って貰えるよう支援を続けていきたいと思います。」 (地域の方より) 「テレビやニュースで不審者等の話題が出て来てますが何か対応してますか？」 (事業所職員より) 「不審者研修の参加、又玄関前に防犯カメラを2台設置しております。」 (地域の方より) 「それは安心ですね。道路も車両の往来が多くまた利用者さんや子供の通学路にもなってますしカメラがあるとより安心ですね。館内に危険徐行の旗があるのでよかったら設置しましょうか？少しでもドライバーが徐行してくれれば良いですね」 (事業所職員より) 「ありがとうございます。」 ※会議後すぐ旗の設置をして下さいました。

